

HOPE plus

[市立芦屋病院だより]



2019年ゴールデンウィーク中の**4月30日(火)・5月2日(木)**
は平常通りの診療を行います。

※当日は病院ネットワークバスも通常ダイヤで運行します。

なお、休診日においても、内科二次救急・外科系救急は24時間365日対応しています。

— 新任 Dr のご紹介 —



医長
おおまえ たかひと
大前 隆仁

診療科
緩和ケア内科

先生から一言！

元号が変わる新たな今年、4月より緩和ケア内科に赴任致しました。がん患者さんと主に関わさせていただきますが、東洋医学を有機的に取り入れながら、病気と上手に付き合いながら市民の皆様が自分らしく過ごしていただけるためのお手伝いをしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。



副医長
おおにし まゆ
大西 麻由

診療科
血液・腫瘍内科

先生から一言！

出産を経て母となった今、これまでとは違った角度で物事をとらえ、生まれ育った大好きな芦屋に恩返しできるよう、日々の診療にあたりたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



医員
にしおか あや
西岡 彩

診療科
糖尿病・内分泌内科

先生から一言！

平成27年より非常勤医師として糖尿病・内分泌内科に赴任しており、この4月より常勤医師となりました。

糖尿病は慢性疾患であり、患者さんと二人三脚で治療にあたることが大切だと考えています。地域に密着した医療機関として、皆様の健康管理のお手伝いをさせていただければと思います。

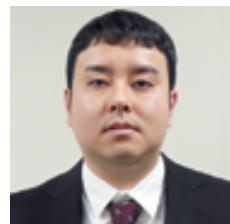
後期研修医のご紹介



臨床研修医
なかはま よしひと
中濱 義人

診療科
糖尿病・内分泌内科

専門は糖尿病・内分泌・代謝内科ですが、幅広い内科疾患にあたり、内科全般の診療を行っていくように精進していきたいと思っています。



臨床研修医
ごとう あつし
後藤 厚

診療科
消化器内科

消化器内科を専攻しておりますが、内科の幅広い疾患に対応できるよう努力致します。よろしくお願ひ申し上げます。

外科のご紹介

一般消化器外科を中心に 安全で良質な手術の提供に努めています

当院外科は近年増加している胃がんや大腸がんなどの消化器がんの手術はもちろんのこと、胆石症(たんせきしょう)、ヘルニア、乳がん、下肢静脈瘤(かしじょうみやくりゅう)、痔核(じかく)の手術を、また虫垂炎や腸閉塞(ちょうへいそく)、腹膜炎(ふくまくえん)などの緊急疾患等幅広く行っており、年間手術数は約500例です。

当科では創が小さく痛みの少ない腹腔鏡手術を早くから導入しており、消化器がん疾患、ヘルニア、急性腹症疾患などあらゆる手術を施行し、患者さんの負担を軽減することに努めています。さらに昨年より肝臓や脾臓の手術を専門とする畠野医長が着任し、スタッフも充実したことから治療可能な対象疾患も増加しています。

一方特色のある専門外来も実施しており、近年増加の著しい乳がんや痔疾患、下肢静脈瘤に対して、乳腺専門外来、肛門専門外来、下肢静脈瘤外来を開設しており外来患者数も増加しています。特に乳腺専門外来では今年から3D精密マンモグラフィ(乳房撮影装置)を導入し、乳がん検診の精度向上を実現し、早期乳がんの発見に努めています。肛門専門外来では痔疾患に対し痛くない切らない手術として注射による硬化療法を実施しています。

また、当院では既に内科・外科系救急を24時間365日体制で実施しておりますが、外科では独自に外科救急ホットラインを立ち上げており、緊急外科手術の必要な患者さんの救急搬送時には24時間体制で対応し、昼夜を問わず緊急手術を実施しています。



眼科のご紹介

はくないしょう りょくないしょう とうようびょう もうまくしょう 白内障、緑内障、糖尿病網膜症 の診療に力を入れています

当院の眼科は大阪医科大学から3名の非常勤医師が派遣され、外来診療、手術を担当しています。診療内容は、白内障(はくないしょう)、緑内障(りょくないしょう)、糖尿病網膜症(とうようびょうもうまくしょう)を中心に、様々な疾患を取り扱っています。常に患者さんと共に目の病気に向き合うことを心がけ、患者さんの話に耳を傾け、相談しながら、安心して治療を受けていただけるよう努力しております。

また、専門の医師への受診が必要な際は他施設へ紹介することもあります。

【白内障について】

白内障の多くは加齢の変化で起こるものですが、視力が低下し生活に支障が出るようであれば手術の対象になります。当院では毎週水曜日に白内障手術を行っています。基本的には1泊2日の入院で行っておりますが相談の上、2泊3日入院や日帰り手術にも対応しています。

【緑内障について】

緑内障は視神経の障害により視野が狭くなる病気です。当院では定期受診、視野フォローにより早期発見、早期治療を目指しております。

【糖尿病網膜症について】

糖尿病患者さんについては、内科と提携することにより定期的な眼底検査を行い、進行例には網膜光凝固(レーザー治療)を行っています。

気になる症状がある場合は、何でもご相談ください。



事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治文隆

離合集散

2019年アカデミー賞で作品賞こそ逃しましたが主演男優賞など4部門で受賞した「ボヘミアン・ラプソディ」は、イギリス・ロンドン出身のロックバンド「クイーン(Queen)」の物語です。前評判はそれほど高くなかったのですが、封切りとともに観客数がうなぎのぼりに増え、日本での興行収入は100億円を軽く突破しました。ストーリーは比較的月並みで、メンバーのボーカル担当でHIV感染者のフレディ・マーキュリーの伝記ドラマです。しかし、次々と生まれる大ヒットメロディの舞台裏など音楽性が高く、クイーンを知る年代だけでなく若い世代にも人気が出て、多数のリピーターが生じて観客動員につながったと思われます。

「ボヘミアン・ラプソディ」「ウイ・ウイル・ロック・ユー」を始め「レディオ・ガ・ガ」など数々の名曲を生んだ4人組でしたが、フレディがソロ活動を始めたことからバンド内の不和が広がり崩壊寸前となります。解散寸前のクイーンを救いグループ復活に導いたのが、1985年開催のアフリカ難民救済目的の史上最大級チャリティコンサート「ライヴ・エイド」でした。映画のラスト約20分はこのライブ映像の迫力を十二分に見せつけてくれます。1991年フレディは41歳の若さでエイズのため死亡しますが、クイーンは残されたメンバーで活動を続けます。

イギリスのロックバンドといえばザ・ビートルズ(The Beatles)抜きには語れません。リヴァプール出身の4人組は1960年代の世界を席巻しました。「史上最も偉大なアーティスト」の名はおそらく不滅のものでしょう。そのビートルズですらグループ内の不和から1970年に事実上の解散に追い込まれます。以後は4人がそろって演奏することはありませんでしたが、組み合わせを変えて二人または三人でアルバムを出しています。またリンク・スターのソロアルバム「リンク」では

録音テープの上だけでありましたが、4人全員が参加してリリースされました。私がアメリカに留学中に、ニューヨークでジョン・レノンが撃たれ、非業の死を遂げました。新聞各紙がトップページに最大級の活字で彼の死を伝えていたことを思い出します。もう4人が再び集まる夢は叶えられません。

解散騒ぎで話題になったのが、日本のアイドルグループ「嵐(ARASHI)」です。1999年に結成、CDデビューした5人グループも結局は結束を固められず、2020年12月31日付の活動休止を宣言し、ファンが大騒ぎしています。まだ2年先のこととはいえ、解散を明らかにした嵐の求心力は持続するのでしょうか。安室奈美恵のように引退に向けて人気が頂点に達することができるのか注目されます。日本の国民的アイドルグループといえば、「Sports Music Assemble People」の頭文字をとったSMAPです。当初6人のちには5人組の彼らは28年間にわたって、国内だけでなく東アジアでも超人気グループとして活躍しました。SMAPも内紛・分裂騒動の挙句2016年12月31日付で解散しています。嵐の解散日も兄貴分のSMAPを真似たのかもしれません。

SMAPのミリオンヒット「世界に一つだけの花」は第76回選抜高等学校野球大会の開会式入場行進曲に採用されました。さらに今年2019年の第91回選抜高等学校野球大会でも再度入場行進曲に選ばれ、平成の代表曲の地位を不動にしました。嵐にしろ、SMAPにしろ、分裂解散後も「世界に一つだけの花」のように再会、融合、復活の機会があることをファンは望んでいることでしょう。(2019.4.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



交通案内

JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅から

- タクシー 約7分
- バス 約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番
- 徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>